

# 令和3年第1回定例会の提出議案と審議結果

## ●全会一致で可決した議案

議案番号	議案名	議決結果	議案番号	議案名	議決結果
第1号案	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度ふじみ野市一般会計補正予算(第11号))	承認	第17号案	令和3年度ふじみ野市国民健康保険特別会計予算	可決
第2号案	令和2年度ふじみ野市一般会計補正予算(第12号)	可決	第20号案	令和3年度ふじみ野市水道事業会計予算	可決
第4号案	令和2年度ふじみ野市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	第21号案	令和3年度ふじみ野市下水道事業会計予算	可決
第5号案	令和2年度ふじみ野市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	第22号案	ふじみ野市立さぎの森小学校校舎大規模改造工事請負契約の締結について	可決
第6号案	令和2年度ふじみ野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	可決	第23号案	財産の取得について	可決
第7号案	ふじみ野市立児童発育・発達支援センター条例	可決	第24号案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第8号案	ふじみ野市手数料条例の一部を改正する条例	可決	第25号案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第9号案	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	第26号案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第10号案	ふじみ野市税条例の一部を改正する条例	可決	第27号案	教育長の任命について	同意
第11号案	ふじみ野市債権管理条例の一部を改正する条例	可決	第28号案	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
第12号案	ふじみ野市重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	第29号案	ふじみ野市土地開発公社の解散について	可決
第14号案	ふじみ野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	第30号案	上福岡駅東口駅前広場整備工事請負変更契約の締結について	可決
第15号案	ふじみ野市子どもいじめ防止条例の一部を改正する条例	可決	議案第1号案	別居・離婚後の親子交流の促進と子の養育に関する法改正及び共同親権規定の整備を求める意見書	可決

## ●賛否が分かれた議案

○：賛成 ×：反対

議案番号	議案の件名	議決結果	青藍会		日本共産党				公明党		信政会		会派に属さない											
			原田雄一	加藤恵一	小林憲人	西和彦	山田敏夫	大塚守	小高時男	新井光男	床井紀範	足立志津子	伊藤初美	塚越洋一	鈴木美恵	川畑京子	島田和泉	伊藤美枝子	近藤善則	谷新一	鈴木啓太郎	金濱高顕	民部佳代	
第3号案	令和2年度ふじみ野市一般会計補正予算(第13号)	可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第13号案	ふじみ野市介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第16号案	令和3年度ふじみ野市一般会計予算	可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第18号案	令和3年度ふじみ野市介護保険特別会計予算	可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第19号案	令和3年度ふじみ野市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号案	離婚後の共同親権制度を確立するため、必要な手立てを講じることを求める意見書	否決	×	×	議長	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×
議案第3号案	75歳以上の医療費窓口負担2割の中止を求める意見書	否決	×	×	議長	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議案第4号案	生活保護申請における扶養照会の見直しを求める意見書	否決	×	×	議長	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議案第5号案	日本学術会議任命問題に関する意見書	否決	×	×	議長	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※議長は採決に加っていません。

# 令和3年度 一般会計予算討論

賛成多数で可決

賛成

暮らしと健康を第一とした政策推進を  
青藍会 西和彦 議員

歳入は、コロナ禍の影響により税収等の大幅な減収が見込まれる中、目的基金の活用により安定した継続的な市政運営を実現する予算となっており評価をする。

歳出では、「新型コロナウイルスワクチン接種業務」「(仮称)西地域文化施設整備」「上福岡駅東口駅前広場整備」「新生児聴覚スクリーニング検査」「多胎産婦への支援」など適切な予算計上を評価する。

新型コロナウイルス感染症対策を継続し、市民の暮らしと健康を第一とした政策の推進を期待する。

賛成

市民生活の安心・安全を最優先に  
公明党 伊藤美枝子 議員

人口増が見込まれるが新型コロナウイルス感染症などの影響により市税は前年度比約10億8600万円の減。国の特別交付金等で全体では0.2%のプラスとなる。新規事業では、複合化・複雑化したニーズに対応する「断らない相談支援体制」の構築。障がい者総合相談支援センターの支援拡充。新型コロナウイルスワクチン接種体制の整備。コロナ禍の孤立・経済不安からこのころの相談件数も増加。オンラインによる相談支援は安心につながる。市民を守る政策に期待する。

賛成

コロナ禍での歳入確保を評価  
会派外の議員 金濱高顕 議員

個人市民税について納税義務者数の見込みは増加したものの、前年度と比較して4億6561万円減の約66億8987万円の計上となった。新型コロナウイルス感染症による要因が極めて大きく、まさに生き物のように変化する状況と影響に対応し、市民が今何を求めているのか的確に捉える事が必要と考える。

歳入面ではふるさと納税の歳入確保に向けた担当課の尽力を、歳出面では不妊治療費の助成等について実態に沿った拡充を、特に高く評価し賛成とする。

反対

基金を活用して積極的なコロナ対策を  
日本共産党 伊藤初美 議員

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で市税収入の減収が見込まれるが、国の交付金や臨時財政対策債で補てんされる。基金は大規模事業などのために取り崩しても残高は130億円もあるのに、コロナ禍による収入減や営業困難に直面する市民を救済するための市独自施策、無症状者の感染を早期発見するPCR検査拡大が予算化されていない。

また、窓口業務などは、民営化ではなく直接雇用に改善し、市民の声を直接聞き市政運営に生かすべきだ。

賛成

市民に寄り添う姿勢を評価  
会派外の議員 民部佳代 議員

市税の減収が懸念されたが、国の財政措置や基金の活用で前年度同規模の予算編成となった。今後の新型コロナウイルス感染症に対し、市民生活を守るため財政調整基金で備えている。

新規の福祉総合支援事業は、どこに相談していいかわからない市民に寄り添う事業で職員の熱意も感じる。元の生活に戻るにはワクチン接種が最も重要な事業となるが、適切に情報提供してもらいたい。緊急の支援など補正予算で対応する場合にも迅速に説明してほしい。

